

北須磨団地自治会（兵庫県）

活動地域

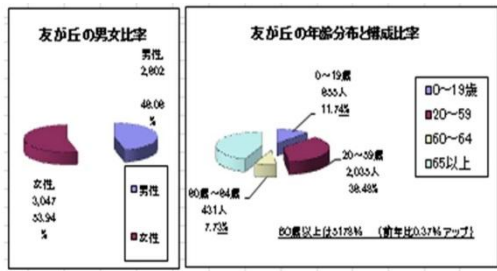
皆さん、こんにちは。北須磨団地自治会会長の西内と申します。45年間の歴史を15分でしゃべるのは無理なので、私たちのまちを一言で紹介しようと、皆さんご存じだと思いますが、今から16年前、須磨連続殺傷事件で、この2府4県の方に、特に警察の方にはお世話になりました。本当に特異な事件でした。そのまちです。



団体の概要

1 友愛の町 北須磨団地とは!!

45年前労働金庫の15周年記念事業として、労働者自らがづくり、育ててきたまち。位置：須磨区友が丘1～9丁目及び多井畑字掛り峠の一部 面積：約102ha 人口：5579人



地域の特徴

市営地下鉄妙法寺駅・名谷駅の両方の駅から5分毎相互にバスが運行。JR須磨駅へのバスは自治会による誘致

※小中学校、児童館、幼稚園と保育園、小規模多機能型の老人介護施設や障害者施設、そして銀行や郵便局、スーパーなど私たちの生活に必要なものがすべてそろっているのが大きな特徴で一度このまちを離れても、最近はその生活の便利さにまた戻ってくる住民も少なくありません。

住民達でつくった施設

- 北須磨保育センター…… 保育園、幼稚園を一体化させた児童福祉施設
- 友が丘YUA I …… 特別養護老人ホーム
- こんにちは友が丘 …… 知的障害者施設
- すこやか友が丘 …… デイサービスセンター、小規模多機能型居宅介護事業所、ホームヘルパー事業所、介護相談事業、こんにちは友が丘分場地域交流室、レストラン「しゃべりな」

私たちのまちは45年前に労働金庫が15周年記念として、働く人たちのまちを造るという記念の事業で造りました。今年46年目になります。65歳以上の高齢化率も非常に高くなっています。高齢ではありますが、皆さん元気です。今のところ、2,700所帯で5,000人が住んでおります。

活動の概要

今日は「あいさつから始まる安全・安心のまちづくり」ということで、皆さんがすぐ実行できることを話したいなと思ってまいりました。

私たちのまちは、16年前に起きた神戸市須磨区における児童連続殺傷事件により「怖いまち」という印象のまちになりました。そこでその後、犯罪を未然に防ぐには、地域の連帯感を強めることが必要であると考え、住民同士が外で出会えば積極的に挨拶をする「あいさつ運動」に自治体全体で取り組んでいたところ、平成15年4月10日にNHKの「難問解決！ご近所の底力」という番組に、私たちの「あいさつ運動」が取り上げられ、北須磨団地のあいさつ運動について、「みんなで盛り上がっていることについて素晴らしいことだ」と賞賛されました。

このことがきっかけとなり、神戸市においてもあいさつ運動を始めることになり、市長の肝いりで「あいさつ運動のマニュアルを作成する。」とのことで、市役所の課長が6人も私のところに相談にきました。そこで、私は挨拶について、「市では、市長が局長に挨拶をします。また、局長が課長に挨拶しますよね。

つまり、挨拶とは、下から上ではなく、本来は上から下にするものなんです。例えば市役所の係長や課長が市役所訪れた住民の方に

「よくいらっしゃいました」という気持ちを持って「ご用件は何でございましょう」と声を掛けるだけで、部下の方は「うちの課長や係長は親切になったな」と思うでしょう。同時に住民の方々は「役所いうところは親切になったな」と思うでしょう。つまり声を掛け



合うことによる人と人とのコミュニケーション、これが挨拶ですよ。」という話をしました。

写真は、ボランティアによる朝の見守り活動の様子です。このように子供たちに積極的に声を掛けることで、挨拶をすることを広めております。

本日、皆さんに最初に聞こうと思っていたのですが、皆さんは、今住んでいる所にずっと住み続けたいと考えていますか。それとも、他の地域に住みたいと考えていますか。今住んでいるところにずっと住みたいと思う方、すみませんが、拍手していただけますか。・・・(会場、拍手)・・・

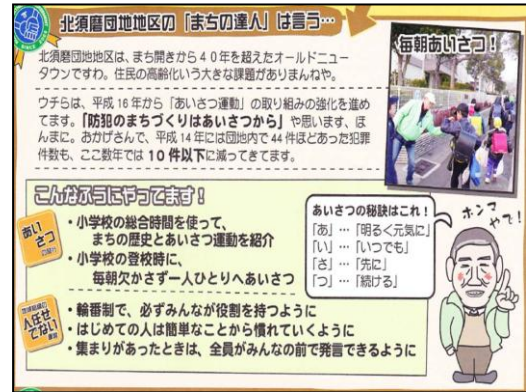
ありがとうございました。そうですね。そうでなければ、自分のまちをよくしようと、このように多くの方が勉強会に参加する訳がありませんよね。私は、住み続けたいまちにするためには基本が必要で、その一つが、今お話しした「挨拶」であると考えております。

挨拶の話をしてまいりましたが、私は、住みたいまちにするためには、もう一つ基本があると考えております。それは、やはり美しいまちであるということです。

私たちのまちでは、年に2回大掃除をします。これは、住民全員が参加して行っています。3、4年前までは、ゴミ袋が1,000袋ぐらい必要でしたが、今年は285袋で済みました。どのようにして、これだけのゴミの量を減らしたのかと申しますと、まず行政に、「私たち自治会の掃除は、夏は6月20日、冬は11月20日にやります。」と、先に伝えておきます。そうすれば、行政はその日までに低木などをきれいに整備してくれます。今までは、このような連絡をしていなかったことから、私たちが大掃除をした後に行政が低木の整備をするというような状況でありましたので、毎年ゴミが1,000袋ぐらい出てしまうという状況でありました。つまり、行政と連携を図ることによりゴミの量を減らすことができたという訳であります。

地域の掃除は、自治会はもちろんのこと婦人部においても行っており、自治会館は必ず土曜日に当番を決めて掃除をしています。現在では、地域の方々が気付けば進んで掃除をするという状況で、まち全体がいつもきれいであるという状況が保たれています。

また、私たちの団地内には県立友が丘高校、県立須磨高校、それから育英高校という3つの高校があり、私たちが通学路の掃除をしていますと、その先生たちが、自分のところの生徒が通う通学路であり、きれいにしようということで手伝いに来てくれます。まちをきれいにすればするほど、みんなが集まって



来てくれ、まちがどんどんきれいになっていきます。

このように、挨拶をすること、まちをきれいにするので、人と人のつながりが生まれ、安全で安心なずっと住みたいまちづくりにつながって行きます。

年齢も75歳にもなりますと、もうすることがないんですね。人生にしてもカラオケにしても浪花節で自分の好きなことをやっております。好きなことができる居場所づくりということも住みたいまちづくりのため大切なことであると思っており、若者とのふれあい会や地域交流の場としての「男の台所」と称し、地域の男性を集めての料理教室などもやっております。

本日は、私の好き勝手にお話をしましたが、最後に、まちを美しくすること、お互いに仲良くすることが、これからのまちづくりで一番大事なことであると思います。

皆さん、今後ともよろしく願いいたします。それでは、終わります。



おわりに

～人のつながりを糧に愛するまちづくりをめざして～

さらなる住みよいまちづくりをめざして人を愛し、まちを美しくし、となり近所があいさつ、声かけをして仲良くし、みんながいつまでも住みたいと思うような生活環境が整った団地にしていきたい。

さらに若い人たちがぜひすみたいと思う北須磨団地にしたいと思っています。